

○令和4年度第1回神戸圏域地域医療構想調整会議 病床機能検討部会開催結果

圏域名	神戸
日時	令和4年9月29日(木) 13:30~14:50
場所	中央区文化センター 11階 1111室 (WEB併用)
司会	会長代行 眞庭 謙昌 (神戸大学医学部附属病院長) 事務局 神戸市健康局地域医療課長 島 真一郎
出席者	委員16名中13名が出席
議事次第概要	(議事) (1) 報告事項 ①外来機能報告について ②北神・三田の急性期医療の確保・充実について (2) 協議事項 ①西市民病院の再整備について ②甲南医療センターの公的医療機関等2025プランの策定について
内容	(1) 報告事項 ①令和4年4月1日に施行された外来機能報告の内容について、兵庫県より説明。 ②北神・三田の急性期医療の確保・充実について、済生会、神戸市、三田市の三者合意の内容などを、済生会兵庫県病院より資料に沿って説明。また、神戸市より整備候補地について説明。 (2) 協議事項 ①令和10年度に新病院開院予定の西市民病院について、令和5年度に基本設計を実施する予定であるため、基本構想をベースに説明および内容について協議。 ②甲南医療センターについて、令和2年に地域医療支援病院となり2025プランの策定対象となったため、プラン案について協議。
主な質疑応答	(1) ①外来機能報告について ・従来の地域医療支援病院、特定機能病院がこういった(紹介受診重点医療機関のような)役割を今まで担ってきたが、それだけで不十分ということでこのようなシステムができたのか。どのようなどころに不十分な点があったのか。 →不十分な点があったかについては分からないが、都市部では大きな病院に外来患者が集中していて負担が生じていると国は考えており、そういう部分での負担感の解消、また結果的に医師の働き方改革にもつなげていくというのが制度の趣旨と考えている。 ・いかに一般市民に分かりやすいように受診していただくのか、複雑なシステムをどのように説明していくのか。 →紹介受診重点医療機関は標榜ができるので看板を掲げることが

	<p>できるが、一般市民にとってどのような機能をもつ病院か分かるように普及していきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この制度は今年から始まるのか。 <p>→今年度より。毎年病床機能報告とセットで外来についても報告いただく。</p> <p>(1) ②北神・三田の急性期医療の確保・充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員からの質疑は特になし。 <p>(2) ①西市民病院の再整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症については病床を拡張できるという話であったが、どれくらいまで対応できるか教えてほしい。 <p>→358床の病床のなかで、動線を考えた形で10床、20床と拡張できるような仕様をしたい。パンデミックが起きてそれでは足りないといった場合、現在、中央市民病院が駐車場に臨時病棟をつくっているが、例えば普段は他のことに使っているスペースを確保し、いざというときに20床程度の臨時の感染症病棟に転用するという事も考えられる。しかし、通常は、一般病床358床のなかで動線を考え運用していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の質疑・意見は特になく、再整備の方向性について異議はなかった。 <p>(2) ②甲南医療センターの公的医療機関等2025プランの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員からの質疑・意見は特になく、プランの内容について異議はなかった。
次回以降の予定	未定